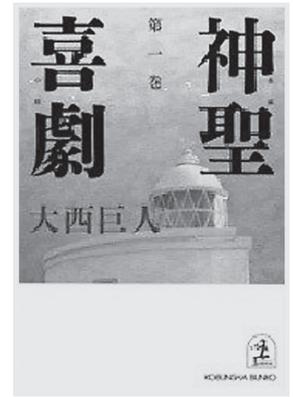


アジア太平洋戦争中の対馬兵營を舞台に、青年知識人東堂太郎が不条理に抵抗しながら回生していくさまを描いた本作は、20世紀文学の傑作と評価されている。全五巻、文庫本で2,500ページの大作を1年かけて読み、主人公たちがたたかう精神をいかにつつかい、連帯する可能性をはぐくんでいったかを検証し、その今日的意義を探っていく。



12月5日(水) 18時45分～21時15分

「第一部 絶海の章」(第一巻)

——東堂太郎の虚無主義

報告＝伊藤龍哉 (HOWS 受講生) アドバイザー＝山口直孝 (二松学舎大学教員)

報告者の一言

「私は、この戦争に死すべきである。」——東堂太郎は自らに最終的に結論を下し、入隊した。入

隊は、かれの意志において選択された。それは如何にしてなされたか。「一九四〇年代の若者、一個独自の虚無主義者」東堂太郎の内面に迫りたい。

2019年

1月16日(水) 18:45～21:15

「第二部 混沌の章」(第一巻) —— 大前田軍曹の「聖戦」批判

報告＝齊藤光太郎 (HOWS受講生)

2月13日(水) 18:45～21:15

「第三部 運命の章」(第二巻) —— 「安芸」の彼女の諦念

報告＝首藤 滋 (HOWS受講生)

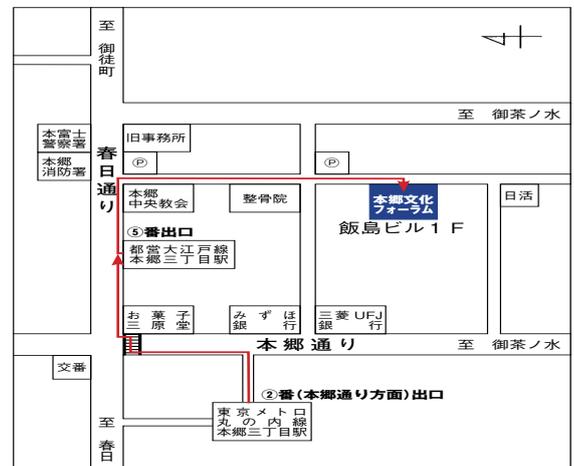
3月13日(水) 18:45～21:15

「第四部 伝承の章」(第二巻)

——村崎一等兵の階級意識

報告＝飯島 聡 (HOWS受講生)

アドバイザー＝立野正裕 (元明治大学教員)



〈講座の会場です〉

〒113-0033

東京都文京区本郷3-29-10 飯島ビル1階 小川町企管内

本郷文化フォーラム・ワークススクール (HOWS)

電話：03-5804-1656 FAX：03-5804-1609

E-mail：hows@dream.ocn.ne.jp

●会場：本郷文化フォーラムホール

●参加費：1,500円 (学生1,000円)